

符号化文字集合(新JCS委員会)調査研究委員会の進め方(案)

1. 委員会名, 通称 (略称)

『符号化文字集合調査研究委員会』 (新 JCS 委員会)

サブタイトル: 国語審議会の表外漢字字体表の JIS 反映を検討するための委員会。

(平成 13 年度よりのサブタイトル)

2. 委員会の目的

JIS 文字コードに関する標準化の調査研究、検討課題の審議。

- 1) 国内文字関連の答申, 規定などとの整合性を検討する。
- 2) 国際規格との整合性の調査研究を行う。
ISO 対応は, 財団法人情報処理学会・情報規格調査会の当該委員会と連携する。
国際規格とすべきものは, 関係機関とリエゾンをとり国際規格化の提案を行う。
- 3) JIS の素案作成、見直し, 改正などをおこなう。
- 4) 国語審議会答申「表外漢字字体表」の JIS 反映を検討し改正する。

備考: 経済産業省からに委託事業である

3. 平成 14 年度活動の概要

平成 13 年度の新 JCS 委員会成果報告「JIS 文字コード改正の方針と具体的変更箇所」に基づき、JIS X 0213 等の改正を行う。

符号化文字集合調査研究委員会 (これを親委員会と呼ぶ)の下に JIS 改正素案作成部会(WG)を設置し、活動する。

1) 親委員会は

- a) WG 運営の方針決定と指示。
- b) WG の成果物の承認

2) JIS 改正素案作成部会(WG)は、

- a) 「JIS 文字コード改正の方針と具体的変更箇所」に従い、JIS X 0213 等の改正の素案作成を行い、委員会へ提出する。
- b) 作業において、発生した疑問・課題などに付いては、委員会へ資料を提出し親委員会の指示を仰ぐ。

4. 活動スケジュール (案)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
親委員会	○			○		○	
WG	○	○	○	○	○	○	
	< --- 改正素案作成 --- >			< ----- >			
					公開レビュー		

専門委員会提出 ◎